

『薬事委員会所属医師（医師モニター100名）の約3割がフォーミュラー導入に賛成』
-フォーミュラーに関する調査-

URL: <https://insight.rakuten.co.jp/report/medical/20200423/>

楽天インサイト株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：渡邊 秀文、以下「楽天インサイト」）は、「フォーミュラーに関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2020年3月10日（火）～11日（水）の期間で、日経メディカル Onlineに登録している医師モニター（約16万人）の中から、薬事委員会に所属する医師100人を対象に行いました。

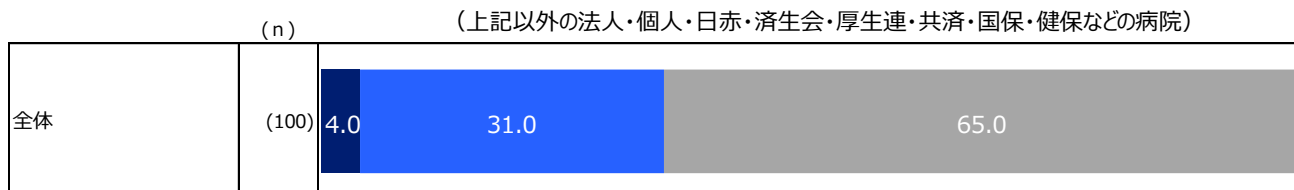
※フォーミュラー：疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報
※薬事委員会：当該病院において購入・使用する薬剤の採否を決定する権限を有する機関

■□ 調査結果 □■

■ 回答者属性

◇経営形態（n=100：全員）単一選択 単位：%

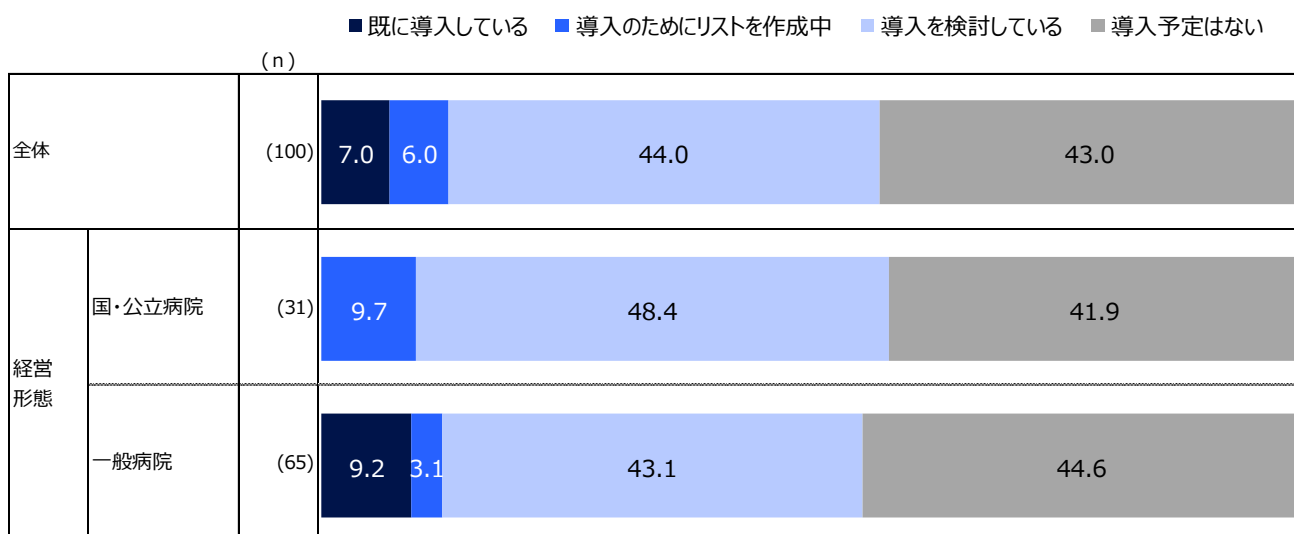
- 大学病院
（国公立大学病院・私立大学病院）
- 国・公立病院
（国立病院機構・都道府県立・市町村立・労災病院）
- 一般病院
（上記以外の法人・個人・日赤・済生会・厚生連・共済・国保・健保などの病院）



■ フォーミュラーを既に導入している割合は7.0%、検討は44.0%

現状のフォーミュラー導入状況を確認したところ、「既に導入している」と回答した割合は全体で7.0%、一般病院では9.2%だった。国・公立病院は0.0%となり、今回の調査対象の医師の勤務先においてはフォーミュラーの導入はみられなかった。また、「導入を検討している」と回答した医師は、全体で44.0%、国・公立病院では48.4%、一般病院では43.1%となっており、4割以上の医師が検討段階ということが分かった。その一方、フォーミュラーの「導入予定はない」も全体で43.0%、国・公立病院では41.9%、一般病院では44.6%という結果となった。

◇フォーミュラーの導入状況 (n=100：全員) 単一選択 単位：%

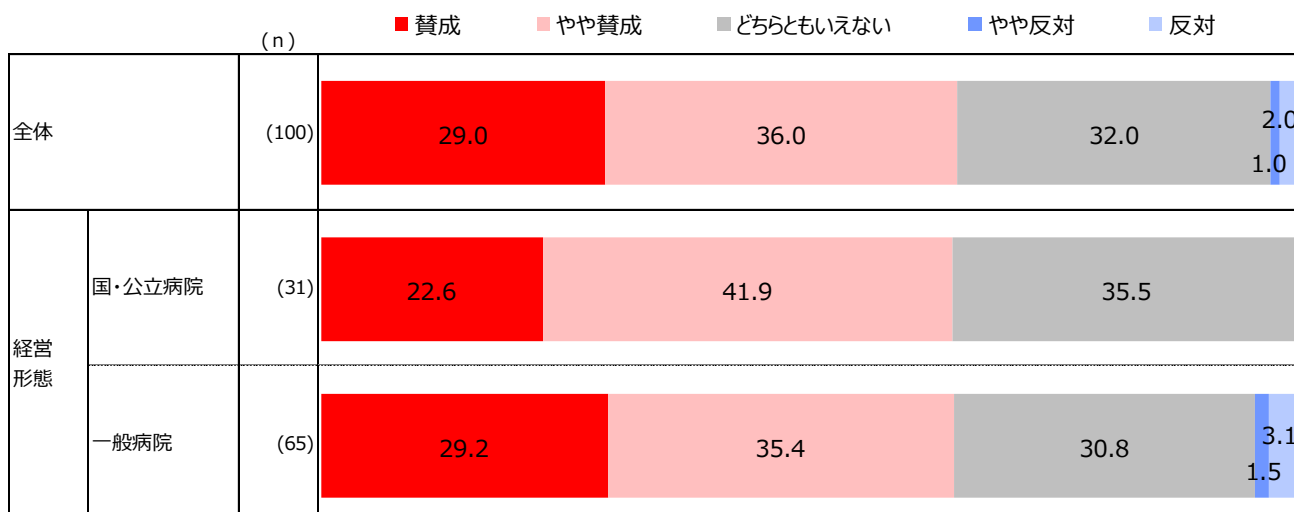


■フォーミュラー導入について「賛成」は29% (薬事委員会所属医師100名において)

フォーミュラー導入について、薬事委員会所属医師に、賛成か反対かを聞いたところ、「賛成」と回答した医師は29%、「やや賛成」と回答した医師は36%の結果となった。

経営形態別にみると、国・公立病院の医師では「賛成」は22.6%、「やや賛成」は41.9%。一般病院の医師では「賛成」は29.2%、「やや賛成」は35.4%であった。

◇フォーミュラー導入について (n=100：全員) 単一選択 単位：%

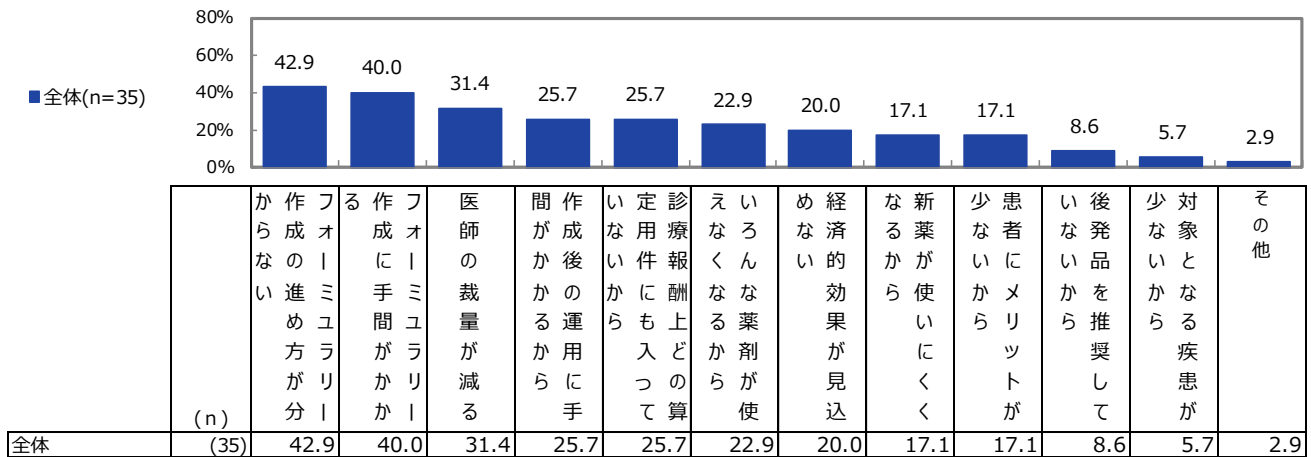


■フォーミュラー導入について賛成ではない理由は、「フォーミュラー作成の進め方が分からない」が最多

フォーミュラー導入について「どちらともいえない」「やや反対」「反対」と回答した医師に、その理由を確認したところ、「フォーミュラー作成の進め方が分からない」が42.9%と最も高かった。続いて

「フォーミュラー作成に手間がかかる」が40.0%、「医師の裁量が減る」が31.4%との結果となった。

◇フォーミュラー導入について賛成ではない理由 (n=35:フォーミュラー導入について「どちらともいえない」「やや反対」「反対」と回答した医師) 複数選択 単位:%

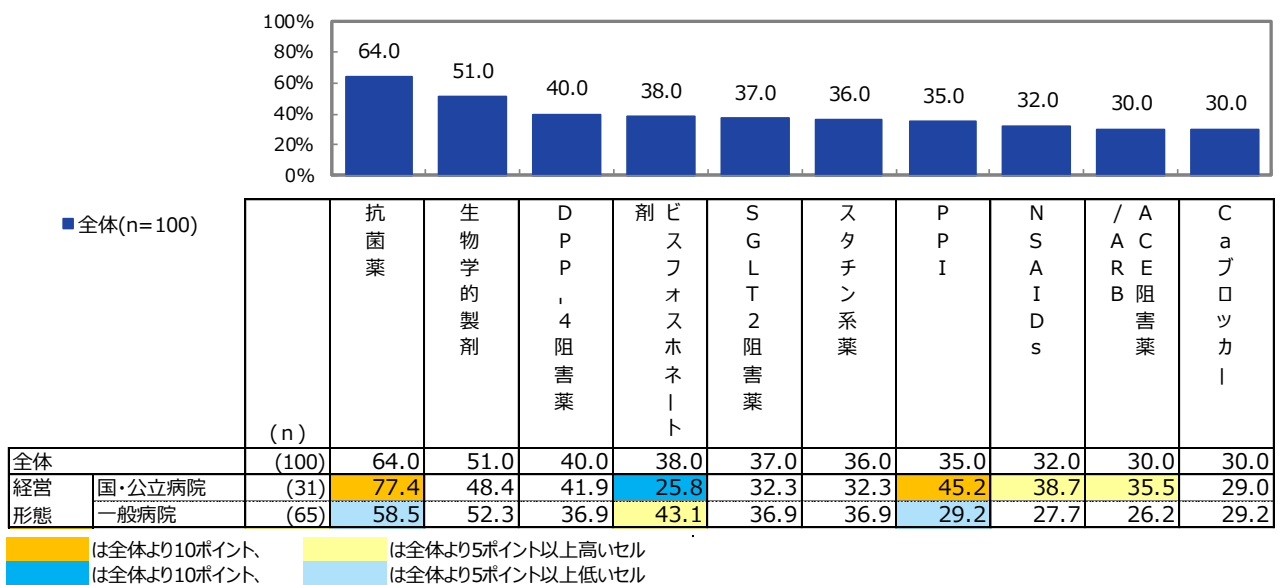


■フォーミュラーに取り入れたい薬効群は「抗菌薬」「生物学的製剤」の割合が高い

フォーミュラーを取り入れることになった場合に取り入れたい薬効群を聞いたところ、「抗菌薬」が国・公立病院で77.4%、一般病院で58.5%と、共に最も高くなっている。「生物学的製剤」は国・公立病院で48.4%、一般病院で52.3%となっており、「抗菌薬」に続いている。

また、「ビスフォスホネート剤」が国・公立病院で25.8%、一般病院で43.1%、「PPI」が国・公立病院で45.2%、一般病院で29.2%と経営形態により差がある薬効群も見られた。

◇フォーミュラーに取り入れたい薬効群 (n=100:全員) 複数選択 単位:% ※上位10項目のみ記載



【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 薬事委員会に所属する医師
回収サンプル数 : 100 サンプル
調査期間 : 2020年3月10日から3月11日
調査実施機関 : 楽天インサイト株式会社